

(3) 大学院学校教育研究科

③ 教育実習

ア 教育実習委員会設置の趣旨（目的）及び組織

i) 設置の趣旨（目的）及び組織

委員会は、学部及び大学院の教育実習（学部の保育実習を含む。）に関する事項について調査検討することを目的として設置されている。

ii) 組織の構成及び構成員等

平成28年度は、学校教育専攻の各コースから選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ。）各1人、教科・領域教育専攻の各コースから選出された教授又は准教授各1人、教育実践高度化専攻から選出された教授又は准教授1人、学校教育実践研究センターから選出された教員9人（9人のうち5人は特任教員）、附属幼稚園副園長、附属小・中学校副校長、教育支援課長及びその他学長が指名した者（2人）の計26人で構成した。

また、大学院における実習の責任体制を明確にするとともに効率的な運営を図るため、本委員会の下に以下の部会を設置した。

・ 特別支援学校教育実習専門部会

特別支援教育コースから選出（学長指名を含む。）された教育実習委員会委員2人、大学院授業科目「特別支援学校教育実習」履修者の専門セミナー担当教員のうち特別支援教育コース所属教員を除く教員7人の計9人で構成

・ 学校支援プロジェクト専門部会

教育実習委員会委員のうち教育実践高度化専攻から選出された委員1人、教育実習委員会委員のうち学校教育実践研究センターから選出された委員5人及び教育実践高度化専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）3人の計9人で構成

更に、専門職学位課程（教職大学院）教育実践高度化専攻における実習科目「学校支援フィールドワーク」の円滑な実施を図るため、以下の連絡会を設置した。

・ 学校支援プロジェクト連絡会

学外委員として上越市教育委員会教育総務課参事、学校教育課指導係管理指導主事、妙高市教育委員会子ども教育課参事管理・指導主事、上越市小学校長会長、上越市中学校長会長、上越市校長会教育実習担当、妙高市小学校長会長、妙高市中学校長会長の9人並びに学内委員として教育実習委員会学校支援プロジェクト専門部会委員計9人の合計18人で構成

・ 教職実践インターンシップ専門部会

教育実習委員会委員のうち教育実習委員長及び副委員長、小学校及び中学校教育実習専門部会長、学校教育専攻及び教科・領域教育専攻から選出された委員10人、教育実習委員会委員のうち学校教育実践研究センターから選出された委員のうち6人、附属小・中学校副校長及び学長指名3人と学外委員として、上越市教育委員会1人、上越市小・中校長会の代表2人の計25人で構成

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

平成28年 4月4日（月） 第1回教育実習委員会

〃	4月12日（火）	第1回教育実習連絡会
〃	4月13日（水）	第1回教育実習協力校（園）会議
〃	5月27日（金）	第1回学校支援プロジェクト専門部会
〃	5月30日（月）	第1回特別支援学校教育実習専門部会
〃	6月7日（火）	第1回学校支援プロジェクト連絡会
〃	6月13日（月）	第2回教育実習委員会
〃	6月22日（水）	第1回学校支援プロジェクト連携協力校会議
〃	7月19日（火）	第1回教職実践インターンシップ専門部会
〃	7月20日（金）	第3回教育実習委員会
〃	10月26日（水）	第4回教育実習委員会
〃	11月30日（水）	第5回教育実習委員会
〃	12月1日（木）	第2回学校支援プロジェクト専門部会
〃	12月2日（水）	第2回教育実習連絡会，第2回学校支援プロジェクト連絡会
〃	12月7日（水）	第2回教育実習協力校（園）会議
平成29年	1月25日（水）	第6回教育実習委員会
〃	2月9日（木）	平成28年度特別支援学校教育実習連絡会
〃	3月15日（水）	第7回教育実習委員会

ii) 審議された主な事項

教育実習委員会，特別支援学校教育実習専門部会，学校支援プロジェクト専門部会及び教職実践インターンシップ専門部会における主な審議事項は，以下のとおりである。

- ・ 特別支援学校教育実習の実施及び成績評価
- ・ 平成28年度特別支援学校教育実習計画の策定
- ・ 学校支援プロジェクト連携協力校の選定
- ・ 学校支援フィールドワークの実施
- ・ 授業科目「教職実践インターンシップⅠ・Ⅱ」の開設

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

委員会及び専門部会における審議に基づき，以下のことについて重点的に取り組んだ。

- ・ 特別支援学校教育実習の実施（平成28年9月～11月（10日間），18人，12校）
- ・ 実習中の危機管理体制の確認
- ・ 学校支援フィールドワークの実施（平成28年9月～12月（150時間），132人（延べ人数），45チーム38校（小学校20校，中学校13校，小中一貫校1校，高等学校2校，その他2機関（糸魚川市，新潟県）／内数で上越地域以外の県内小学校2校，中学校1校，その他1機関，県外・小中一貫校1校））
- ・ 県立高校，新潟市立学校，個別の学校等へ拡充された学校支援プロジェクト連携協力校でのフィールドワークの実施
- ・ 教育職員免許取得プログラム（以下「免P」とする。）受講生の学力面への対応として，免P1年次の小学校教諭免許取得希望者を対象に小学校実習で指導できる力を補うことを目的に，点検テストを実施し，学力が不足していた学生に対し補習を行った。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 優れた点

- ・ 修士課程における教職実践インターンシップに関する科目として、教職実践インターンシップ I・IIを開講した。
 - ・ 教育職員免許取得プログラム受講生のリメディアル教育として、4月におこなっている基礎学力テストの受験対象を、平成29年度から中学校実習のみを希望する学生にも拡大することとした。
- ii) 今後の検討課題等
- 学部生と比較して、多様な学生が入学してくる、基礎学力が身につけていない教育職員免許取得プログラム受講生の支援について全学を挙げて取り組んでいく仕組み作りが必要となる。